

1. 木質バイオマス関連情報

■オランダ・ハーグの国際司法裁判所（以下、「ICJ」）、各国は人為的な温室効果ガス排出から環境を保護する義務があると勧告。国連総会が 2023 年 3 月に採択した決議に基づく措置で、ICJ の岩沢所長は気候変動は「差し迫った脅威」だと危機感を示し、各国は「誠実に協力する責務」があると強調。国家がその義務に違反した場合には国家責任が生じ、その法的帰結として、違法な行為または不作為の停止、再発防止の保証、および被害を受けた国家に対する完全な賠償（返還、補償、満足）等を行わなければならない可能性があるとした。「1.5℃目標（工業化後の地球の平均気温上昇を 1.5℃までに抑える）がパリ協定下で科学的根拠に基づき合意された気温目標であるとしたこと」、「パリ協定締約国が設定する排出削減目標については、各国が完全に自由に設定できるわけではなく、1.5℃目標の達成に十分な貢献を可能にするものでなければならないとしたこと」、「国際法上、清潔で健康的で持続可能な環境を享受する権利は、他の基本的人権の享受にとって不可欠であるとしたこと」、「国家が気候系等を保護するための適切な措置を講じないこととしては、化石燃料の生産・消費・探査許可・補助金の付与等も含まれること」等の重要な点についても指摘。勧告的意見には法的拘束力はないが、ICJ の権威ある法的見解が示されたことで、今後、気候変動訴訟や国際交渉等に影響を及ぼす可能性も【47NEWS：2025/07/24、国立研究開発法人国立環境研究所：2025/08/08】

<https://www.47news.jp/12907151.html>

https://www.nies.go.jp/social/navi/colum/ICJ_AO_climate.html

■戸田建設（株）（東京）、超小型バイオガス発電設備を開発したと発表（7 月 10 日）。単気筒水冷式・排気量 220cc のバイオガスエンジン発電機で、定格出力は 2.5kW、メタン濃度 50～70%に対応。200kg の食品廃棄物で 10 時間以上運転できる。既存のバイオガス発電機は小型でも数十 kW 以上のため、1 日 1t 以上の食品廃棄物が発生する比較的大規模な施設でないと導入できなかったが、中小規模の食品工場でも食品廃棄物をクリーンな電力へと変換し、廃棄物処理費と CO₂排出量の同時削減

減が実現可能に。食品工場、飲料工場、給食センター、学校給食、社員食堂、酒造、セントラルキッチン、食品スーパー、農場などでの利用を想定。筐体寸法は幅 610×奥行 450×高さ 1145mm で、バイオガス発酵槽（容量は個別に検討要）が別途必要【メガソーラービジネス plus：2025/07/24、戸田建設（株）：2025/07/10】

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/05175/?ST=msb>

https://www.toda.co.jp/news/2025/20250710_006091.html

■岩手県の県産木材供給連絡会議と気仙地方林業振興協議会の共催で、大船渡市大規模林野火災による被害木の利活用を見据えた地域材利用促進セミナーと現地検討会を開催。現地の森林被災面積は 3,400ha に及び、伐採や搬出、再造林など膨大な規模での復旧作業が見込まれる中、伐採時の注意点の他、市場供給の可能性や課題などについて認識を共有。現地検討会は、50～80 年生のスギと 63 年生のアカマツが伸び、気仙地方森林組合が共有林から 2023 年に立木買取で購入し、2026 年度以降に伐採を予定していた赤崎町長崎地域の山林で実施。現地では参加者から、「乾燥材並みに乾いている状況がネックになる場合がある」「製紙の場合は炭化物の付着は『だめ』と言われていた」「バイオマス利用では、これまでの受け入れ状況からも問題ない」といった声が寄せられた。4 月の定例記者会見では岩手県知事も、被害木の活用策に関し「木材製品、チップ、木質バイオマス発電の燃料などがある。関係者と情報共有したい」と強調していた。大船渡市は林地再生対策協議会を設置し、第 1 回会合を 5 月に開催。次回会合で、森林整備の方向性や整備区域などを協議する見込み【東海新報：2025/07/25、岩手日報：2025/04/02】

<https://tohkaishimpo.com/2025/07/25/485642/>

<https://www.iwate-np.co.jp/article/2025/4/2/182199>

■7 月 25 日午前 3 時 55 分頃、広島県広島市でオガライトの製造・販売を手掛ける共栄工産（有）で火災。従業員が 119 番通

報。市消防局によると、工場内のおがくずを固めた燃料「オガライト」が焼けた。消防車 18 台が出動【Yahoo! ニュース: 2025/07/25】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/94289afdaaed9fa4e91b98e3b5b2cfbf9d8de6d0>

■兵庫県神河町、J-クレジットを山林の保全に活用しようと、三菱 UFJ 信託銀行（株）（東京）および（株）山田林業（兵庫）との連携を開始。7 月 1 日に三者で実証事業に関する覚書を締結。山田林業は 2024 年にシン・エナジー（株）（兵庫）、グローバル建設（株）（同）、ハヤキ（株）（同）らとともに生野銀山バイオマス発電所を竣工している。今回のプロジェクトでは山田林業が同発電所運営会社である生野銀山バイオマス（株）（兵庫）からバイオ炭を調達。神河町内の農地に散布することで約 100 t / 年のカーボンクレジットを創出し、そのカーボンクレジットは三菱 UFJ 信託銀行が申請・販売を行う。カーボンクレジットを活用し、林業に新しい循環を生み出し、農業の高付加価値化を実現。限りある資源の有効活用による「稼ぐ力」の向上と地域課題解決で地域へ貢献するとしている【神戸新聞 NEXT: 2025/07/30、三菱 UFJ 信託銀行（株）: 2025/07/02】

<https://www.kobe->

[np.co.jp/news/seiban/202507/0019287051.shtml](https://www.kobe-np.co.jp/news/seiban/202507/0019287051.shtml)

https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/250702_1.pdf

■（株）00Y00（京都）、（株）東京エネシス（東京）と連携し、東京エネシス 100% 出資子会社である合同会社境港エネルギー（鳥取）が運営する境港バイオマス発電所において、CO₂ 回収に関する実証実験を開始。再生可能資源を燃料とすることからカーボンニュートラルな電源とされているバイオマス発電に CO₂ 回収を加えることで、カーボンネガティブな発電を実現する。同発電所は PKS、バークを燃料とし、発電出力 24,300kW、年間発電量は 166.32Gwh（4 万世帯分の年間電気消費量）。実証試験では、00Y00 が独自に開発した高性能分離膜を用い、燃焼排ガス条件や膜性能、運転安定性などを検証。2026 年度以降の商用展開に向け基礎データを取得する。2026 年度初頭には小規模システム（～100kg-CO₂/日回収）の初期モデルの提供開始を、2026 年中には中規模システム（～10t-CO₂/日回収）の開発および実証実験の開始を目指す。NEDO の「GX 分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業」として実施【山陽新聞: 2025/07/31、

合同会社境港エネルギーパワー】

<https://www.sanyonews.jp/article/1769177>

<https://sakaibp.p-kit.com/>

■秋田県能代市にある中国木材能代工場、地元由来の木質廃材チップを受け入れ、バイオマス発電に活用。市内のバイオマス発電所が昨年春に操業を停止し廃材の処理に支障が出ていたが、同社が自社のバイオマス設備で燃焼利用するように。地域課題の解決に一役買っており、エネルギーの地産地消を体現する取り組みとして注目されている【北羽新報社: 2025/07/31】

<https://www.hokuu.co.jp/?p=31392>

■（株）東京エネシス（東京）、100% 出資子会社である合同会社境港エネルギーパワー（鳥取）が運営・管理する境港バイオマス発電所について、8 月 1 日より FIT 制度から FIP 制度に移行したと公表。2022 年 10 月の営業運転開始以来 FIT 制度を利用してきたが、再生可能エネルギーの自立化と電力市場への統合を図るための FIP 制度に移行する。これにより、供給する電気の計画値と実績値を一致させる計画値同時同量が課せられることになるが、新たな責務に対応することにより発電事業者としての経験を重ね、脱炭素社会の実現に向けて貢献するとしている【（株）東京エネシス: 2025/08/04】

<https://www.qtes.co.jp/ir/document/news/1326/>

■テスホールディングス（株）（大阪）連結子会社の（株）伊万里グリーンパワー（佐賀）が、佐賀伊万里バイオマス発電所（発電容量: 46.0MW、燃料: PKS）にて、佐賀県立武雄高等学校（佐賀）の 2 年生 9 名を対象にフィールドワークを実施（8 月 1 日）。夏休みを利用し実施した、同校の「探求」授業の一環。フィールドワークでは、佐賀県内の再生可能エネルギー導入状況やバイオマス資源の全体像、佐賀伊万里バイオマス発電所の事業等の説明後、本発電所の見学会を実施【テスホールディングス（株）: 2025/08/04】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5074/tdnet/2664643/00.pdf>

■木質バイオマス発電向け投融资で、NGO6 団体が大手金融機関 11 社の 2024～2025 年の取り組みを評価。実施したのはウータン・森と生活を考える会（大阪）、「環境・持続社会」研究センター（JACES）（東京）、（一財）地球・人間環境フォーラム（東京）、熱帯林行動ネットワーク（JATAN）（東京）、バイオ

マス産業社会ネットワーク（BIN）（千葉）、Mighty Earth（USA）の6団体。評価対象金融機関は（株）三井住友フィナンシャルグループ（SMBC）（東京）、（株）三菱UFJフィナンシャルグループ（MUFG）（東京）等の銀行4社、明治安田生命保険相互会社（東京）等の生命保険会社4社、およびMS&ADホールディングス（MS&AD）（東京）等の損害保険会社3社。6団体は「方針の有無・適用範囲」、「バイオマス石炭混焼発電」、「燃料生産地の環境・社会リスク」等について各社の方針を比較・評価し、結果を公表。バイオマス発電事業への支援条件を厳格化する動きが広がる一方で、方針の適用が新規案件に限定されているこ

と等の課題も指摘。今後は方針未策定の大手生保・損保に早期の策定を求める一方、方針を導入済みの大手銀行等に対してはさらに厳格な方針と対策が採られることを期待するとともに、現在は方針の対象外となっている既存の支援先についても方針の遵守を求めるなど、働きかけや提言を続けていくとしている【（一社）環境金融研究機構：2025/08/05、（一財）地球・人間環境フォーラム：2025/06/25】

<https://rief-jp.org/ct1/159645>

<https://www.gef.or.jp/news/info/250624biomasspolicy/>

2. ペレット関連情報

■（株）大林組（東京）グループ会社の（株）サイプレス・スナダヤ（愛媛）と中部電力（株）（愛知）が、北海道釧路市における住宅用木構造材の生産・販売事業について計画の一部を見直し、再編したと発表（7月22日）。前回公表時は所在予定地が北海道釧路市の約19haの土地だったが、同じ釧路市内の別の場所の約6.7haの土地を候補地に変更。事業採算性を検証した結果、新設する工場は国内最大級の製材工場のみとし、集成材製造ライン、ペレット製造機械を断念。そのため副製品として計画されていたホワイトペレットがなくなり、生産品目は北海道産原木からのラミナ材などに特化するとしている。商業生産開始は当初は2027年4月の予定だったが、2028年4月からを目指す【環境ビジネス：2025/07/24、PR TIMES：2025/07/22】

<https://www.kankyo-business.jp/news/dcf4d69e-586c-46ad-837f-0a2c22d7f3b9>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000110.000118168.html>

■今治東中等教育学校（愛媛）の生徒が大阪・関西万博で7月31日、廃棄松葉のペレットを農業に有効活用する探求活動の成果を発表。狙いは、農薬や化学肥料を使わない有機農業の促進。同校は2022年から、今治市にある桜井海岸の国指定名勝・志島ヶ原の松原にある廃棄松葉をバイオ燃料化する事業などを実施しており、数多くのコンテストで入賞している。チーム名は、地域の海（Sea）と森（Forest）を守る「SFキーパーズ」。三菱みらい育成財団（東京）が万博会場で実施する「高校生MIRAI万博」に、全国から364チームがエントリーする中、最

優秀賞（6チーム）に次ぐ優秀賞（14チーム）に選ばれ、参加することに。晴れ舞台に立つ5年生5人は「松葉ペレットの魅力を全国に広めたい」と意気込む【Yahoo！ニュース：2025/07/28】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b1a06ca78b435b08898246e2069e61712472c6e1>

■中部電力（株）（愛知）ら10社が共同で出資する福山バイオマス発電所合同会社（東京）が、7月30日、福山バイオマス発電所（広島）の営業運転を開始。発電所は広島県福山市にある中国製鋼（株）敷地内に設置。合同会社の出資比率は中部電力が50%、稲畑産業（株）（大阪）が23.2%、太平電業（株）（東京）が12%、東京産業（株）（東京）が10%、カナデビア（株）（大阪）が2%、愛知海運（株）（愛知）が0.8%、丸加ホールディングス（株）（広島）が0.8%、メック広島（株）（広島）が0.8%、藤井商事（株）（広島）が0.3%、Solariant Capital（株）（東京）が0.1%。三井住友信託銀行（株）（東京）をアレンジャーとするプロジェクトファイナンスによる融資を受けている。木質ペレットと中国地方産の未利用間伐材等由来の木質チップを燃料とし、発電出力は52,700kW、想定年間発電電力量は約3.8億kWh（一般家庭約12万世帯分に相当）。発電プラントのEPCはカナデビアと奥村組によるJV。東京産業が輸入燃料の調達管理及び燃料供給業務を、太平電業とカナデビアが共同で運転保守業務を約20年間にわたり担う予定【中部電（株）：2025/07/30、福山バイオマス発電所合同会社：2025/07/30、OSR No.666：2025/07/30】

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1216511_3273.html

■中部電力ミライズ（株）（愛知）、福山バイオマス発電所（広島）を活用したオフサイト型バーチャル PPA サービスの提供を開始。対象は愛知製鋼（株）（愛知）、（株）ソミック石川（静岡）、大和製罐（株）（東京）、DMG 森精機（株）（東京）、（株）東海理化電機製作所（愛知）、東レ（株）（東京）、浜松ホトニクス（株）（静岡）、富士電機（株）（東京）、富士電機パワーセミコンダクタ（株）（長野）の 9 社を含む顧客。従来の「オフサイト PPA サービス（フィジカル PPA）」では、顧客専用の再エネ電源で発電された電気を顧客が同時に消費する必要があるため、中部電力ミライズが顧客の時間帯毎の電力消費量を確認し、経済的に最適となる規模の再エネ電源を提案。このため、生産ラインの稼働日と非稼働日で電力消費量が大きく異なる工場などにおいて、非稼働日の電力消費量が導入量の上限となり、稼働日の電力消費全てをまかなうことができないという課題があった。「バーチャル PPA」は、再エネ電源で発電された電気から環境価値（CO₂ 排出量ゼロであることを示すことができる価値）を切り分けて提供。そのため、顧客は生産ラインの稼働の有無・昼夜・季節などによらず柔軟に、実質的に再エネ電源で発電された電気を導入することができる。中部電力ミライズがバイオマス発電所を活用したバーチャル PPA サービスを提供するのは今回が初。福山バイオマス発電所から同社が約 3.8 億 kWh 相当の環境価値（非化石証書）を調達し、9 社を含む顧客へ届ける。これにより、合計で約 16 万 t / 年の CO₂ 排出量を削減できる見込み【中部電力ミライズ（株）：2025/07/30】

https://miraiz.chuden.co.jp/info/press/1216501_1938.html

■三洋貿易（株）（東京）、YouTube チャンネルに北の森グリーンエナジー（株）（北海道）の動画を公開。2024 年 6 月に設立した同社は、国産の未利用材を活用した木質ペレットを製造し、その木質ペレットをガス化させて発電する木質バイオマスガス化発電事業を運営。北海道上川郡下川町をはじめとした近隣の市町村での新たな雇用創出、林業活性化など、地域経済発展や脱炭素化へ貢献し、地域循環型社会をめざす同社の取り組みを紹介【PR TIMES：2025/08/04】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000080925.html>

■（一社）固体バイオ燃料標準化協議会（東京、以下「JBSA」）、2025 年 10 月 26 日（日）～31 日（金）に東京で ISO/TC238 国際大会の開催へ。JBSA は、固体バイオ燃料国際規格化研究会（SBFJ）を母体として 2023 年 9 月 1 日に設立。農水省らとの協議を経て、固体バイオ燃料の国際規格を策定する ISO/TC238 委員会の国内審議団体として正式に承認を受け、2024 年 3 月には ISO/TC238 委員会における O（Observing）メンバーから提案と投票ができる P（Participating）メンバーへの参加地位変更も成し遂げた。ISO/TC238 委員会は、毎年各国の持ち回りで大会を開催。2024 年 5 月にオーストリアのウィーンで開催された年次総会で委員の多くに求められたため、2025 年は日本で開催する運びに。会場は九段会館テラス（東京）。20 か国以上約 50 人の委員が参加し、連日各ワーキンググループに分かれて議論するほか、バイオマス発電所の視察ツアーや公式ディナー、年次総会など盛りだくさんのスケジュールになっている。日本の木質燃料の特殊性への理解や安全性の問題、バイオ炭などについての議論が大会でのテーマに上がる見込み【（一社）固体バイオ燃料標準化協議会：2025/08/05】

<https://jbfsa.org/2025/08/05/285/>

■木材資源の活用法を学ぶ法政大キャリアデザイン学部（東京）の学生が三重県松阪市にある松阪市役所を訪問し、市長に同市産の木材を使った木質ペレットの生産を提案。三重県と同大学が就職支援協定を結んでいることがきっかけで、松阪市でイタリアのペレットストーブを輸入・販売している（株）ミツイバウマテリアルは、一昨年度から法政大学キャリア体験学習プログラムの授業（5～12 月）を受け持っている。この一環で 8 月 5 日～7 日まで、受講している 2 年生 4 人が同社で木質バイオマスの有効利用について学習。8 月 6 日には同社社長らが学生を引率して市長を訪問し、これまでに学んだ内容を「松阪市での木質ペレットの生産提案」というレポートにまとめて説明。豊かな森林のある同市で木質ペレットを生産してストーブで活用するよう提言した【中日 BIZ ナビ：2025/08/08、（株）ミツイバウマテリアル：2025/08/07】

<https://biz.chunichi.co.jp/news/article/10/111669/>

https://mitsuibau.com/cat_topic/%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%8E%B2%E8%BC%89/

■経産省、「令和 6 年度新エネルギー等の保安規制高度化事業（バイオマス発電設備の事故防止のための調査）」の事業報告書を公表。（一財）カーボンフロンティア機構（東京）が 2024 年 9 月に同事業委託先として採択され、複数の関係者らと取りまとめたもの。近年国内外で、バイオマス発電所での火災・事故が頻発している。同事業はその原因等を調査した上で当該事故の発生を防止し、バイオマス発電設備の設置者における自主保安の取組の高度化や、今後の技術基準の在り方、事故報告の在り方等の検討につなげることを目的として、次の項目の調査及び検討を実施：（1）近年のバイオマス発電の概要及び石炭火力発電との比較、（2）固体バイオマス燃料の燃焼・火災・爆発

の原理と事故の類型化、（3）国内で発生したバイオマス発電設備の事故調査等（平成 30 年度以降）、（4）諸外国におけるバイオマス発電設備に係る事故の発生状況と規制の現状、（5）バイオマス発電設備の事故防止に関する検討会の開催。報告書の最後に「爆発・火災事故防止に効果的と考えられる対策案についての提案」も記載【経産省：2025/08/13、（一財）カーボンフロンティア機構：2024/09/26】

<https://www.meti.go.jp/medi/lib/report/2024FY/1000138.pdf>

https://www.jcoal.or.jp/news/2024/0926_6.html

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■（一社）日本エネルギー学会、他 「2025 年度バイオマス夏の学校」

2025 年 9 月 1 日（月）

長野県内の木質バイオマス関連施設

<https://www.jie.or.jp/publics/index/987/>

■NPO 法人農都会議「バイオマス熱利用と森林の保全・生態系サービス勉強会のご案内『森の資源を生かしながら、心地よく豊かな暮らしをつくるための地域の営み』」

2025 年 9 月 1 日（月）

Zoom+会場投影

<https://nouto-kaigi.org/%e3%80%90%e6%9c%88%e6%97%a5%e6%9c%88%e3%80%91%e5%8b%89%e5%bc%b7%e4%bc%9a%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85%e3%80%8e%e6%a3%ae%e3%81%ae%e3%8b%87%e6%ba%90%e3%82%92%e7%94%9f%e3%81%8b%e3%81%97/>

■埼玉県機構変動適応センター 「第 23 回環境問題の現況と将来を展望するセミナー『異常気象その実態と対応～暑熱環境を中心に～』」

2025 年 9 月 3 日（水）

埼玉会館 2F ラウンジまたはオンライン（Zoom ミーティング）

https://saipat.pref.saitama.lg.jp/post/information/20250528/250903_kankyotenbo/

■日本エネルギー学会天然ガス部会科学・反応システム分科会「2025 年度講演会 メタンの有用化合物への変換プロセスとその実用化に向けた取り組み」

2025 年 9 月 3 日（水）

日本大学駿河台校舎 タワースコラ S302 教室（東京都千代田区）/ Zoom

<https://www.jie.or.jp/publics/index/989/>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第 232 回研究会「廃菌床をコークス代替として利用する自動車部品製造会社コヤマの脱炭素の取り組み（仮題）」

2025 年 9 月 9 日（火）

地球環境パートナーシッププラザ（東京都渋谷区）/ZOOM

<https://www.npobin.net/>

■RX Japan（株）第 24 回 SMART ENERGY WEEK ～スマートエネルギー WEEK～【秋】

2025 年 9 月 17 日（水）～19 日（金）

幕張メッセ（千葉県千葉市）

<https://www.wsaw.jp/autumn/ja-jp/about.html>

■RX Japan（株）第 5 回 脱炭素経営 EXPO 【秋展】

2025 年 9 月 17 日（水）～19 日（金）

幕張メッセ（千葉県千葉市）

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp/about/dcm.html>

■エネルギーシナリオ事務局（万博 TW）「日経社会イノベーションフォーラム『次世代エネルギー技術によるカーボンニュートラル社会への戦略』」

2025 年 9 月 24 日（水）

テーマウィークスタジオ（大阪府大阪市）/オンライン

<https://events.nikkei.co.jp/74688/>

■（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展 2025」

2025 年 10 月 2 日（木）～4 日（土）

ポートメッセなごや 第 1 展示館、屋外（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■（一社）林業機械化協会、他「第 48 回全国育樹祭開催記念行事 みやぎ 2025 森林・林業・環境機械展示実演会」

2025 年 10 月 5 日（日）～6 日（月）

宮城県仙台塩釜港（石巻港区）雲雀野地区

<https://www.rinkikyo.or.jp/news/view/173>

◎長野市「ながの森林・林業フェア 元気森々長野の森で遊ぶ」

2025 年 10 月 18 日（土）

茶臼山自然植物園（長野県長野市篠ノ井）

<https://mori-fair.net/>

■バイオマスパワーテクノロジーズ（株）「NEDO『エネルギーの森』実証事業報告会・講演会および現地見学会」

2025 年 10 月 22 日（水）：NEDO 事業報告会

2025 年 10 月 23 日（木）：NEDO 事業現地視察会

[https://bpt.co.jp/bptwp/wp-](https://bpt.co.jp/bptwp/wp-content/uploads/2025/08/5ab388c37ad5dfc1c8f1bfbec97c1297.pdf)

[content/uploads/2025/08/5ab388c37ad5dfc1c8f1bfbec97c1297.pdf](https://bpt.co.jp/bptwp/wp-content/uploads/2025/08/5ab388c37ad5dfc1c8f1bfbec97c1297.pdf)

■日本若者協議会「日本版気候若者会議 2025」

【Day1】2025 年 10 月 25 日（土）東京都近郊宿泊施設の予定

【Day2】2025 年 10 月 26 日（日）東京都近郊宿泊施設の予定

【Day3】2025 年 11 月 9 日（日）オンライン（Zoom）

【Day4】2025 年 11 月 16 日（日）オンライン（Zoom）

【Day5】2025 年 11 月 23 日（日）オンライン（Zoom）

<https://youthclimateconference.jp/archives/1118>

※申込期間は 2025 年 9 月 1 日（月）～9 月 15 日（月）まで

※希望者は事前視察（2025 年 10 月 4 日～5 日@長崎の五島列島の予定）も参加申込可

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「第 13 回アジアバイオマス科学会議（ACBS2025）」

2025 年 11 月 18 日（火）

弘前大学（青森県弘前市）

<https://www.jie.or.jp/publics/index/1046/>

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「第 21 回バイオマス科学会議」

2025 年 11 月 19 日（水）～11 月 21 日（金）

※21 日はテクニカルツアー

弘前大学創立 50 周年記念会館（青森県弘前市）

<https://www.jie.or.jp/publics/index/1036/>

■RX Japan（株）SMART ENERGY WEEK 関西 2025

2025 年 11 月 19 日（水）～ 21 日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.wsew.jp/osaka/ja-jp.html>

■RX Japan（株）第 5 回 脱炭素経営 EXPO 【関西展】

2025 年 11 月 19 日（水）～ 21 日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp/about/dcm.html>

■CMT「DeCarbon Tokyo 2025」

2025 年 12 月 3 日（水）～4 日（木）

ヒルトン東京（東京都新宿区）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=251219&>

■（一社）日本森林学会「第 137 回日本森林学会大会」

2026 年 3 月 16 日（月）～3 月 19 日（木）

つくば国際会議場と筑波大学（茨城県つくば市）

<https://www.forestry.jp/meeting/>

■RX Japan（株）SMART ENERGY WEEK 春 2026

2026 年 3 月 17 日（火）～ 19 日（木）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.wsew.jp/spring/ja-jp.html>

■日報ビジネス（株）「2026NEW 環境展／2026 地球温暖化防止展」

2026 年 5 月 20 日（水）～22 日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.n-expo.jp/>

◎ペレットクラブ「Bioenergy 2026」

2026 年 5 月 20 日（水）～22 日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）NEW 環境展内

4. イベント情報（海外）

◎Safe Wood Pellet Storage: Preventing, Detecting and Managing Self-Heating Incidents

2025 年 9 月 3 日（水）

コペンハーゲン（デンマーク）

<https://pellet.org/events/safe-wood-pellet-storage-preventing-detecting-and-managing-self-heating-incidents/>

■ADBA Northern Ireland Conference

2025 年 9 月 23 日（火）

ベルファスト（北アイルランド、UK）

<https://adbioresources.org/events/northern-ireland-conference/>

■Renewable Energy Markets 2025

2025 年 9 月 3 日（水）～5 日（金）

テキサス州ヒューストン（USA）

<https://www.renewableenergymarkets.com/us/home>

◎The Wood Pellet Association of Canada Conference

2025 年 9 月 23 日（火）～24 日（水）

ハリファクス（カナダ）

<https://events.annexbusinessmedia.com/event/wood-pellet-association-of-canada-conference/>

■Gastech 2025

2025 年 9 月 9 日（火）～12 日（金）

ミラノ（イタリア）

<https://www.gastechevent.com/>

■7th Biogas PowerON

2025 年 9 月 24 日（水）～25 日（木）

ハンブルグ（ドイツ）

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2025,4,en,2,1,109.html>

◎European Biomass to Power 2025

2025 年 9 月 10 日（水）～11 日（木）

ハンブルグ（ドイツ）

<https://marketing.acieue.net/acton/media/6204/biomass-to-power-2025>

■Welcome to Svebio' s Fuel Market Day

2025 年 9 月 25 日（木）

ストックホルム（スウェーデン）/オンライン

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebios-fuel-market-day/>

■2025 North American Biochar Conference & Expo

2025 年 9 月 15 日（月）～18 日（木）

ミネソタ州ミネアポリス（USA）

<https://www.biocharconference.com/>

■Wood Energy Conference 2025

2025 年 9 月 30 日（火）～10 月 1 日（水）

ヴェルツブルク（ドイツ）

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/>

■North American SAF Conference & Expo

2025 年 9 月 22 日（月）～24 日（水）

ミネソタ州ミネアポリス（USA）

<https://saf.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagel=Home>

■2025 Value of Biogas West

2025 年 10 月 6 日（月）～8 日（水）

アルバータ州カルガリー（カナダ）

<https://biogasassociation.ca/vob2025west/>

■Biogas Intelligence+

2025 年 10 月 7 日（火）～9 日（木）

シュトゥットガルト（ドイツ）

<https://ibbk-biogas.com/schedule/biogas-intelligence-plus/>

■7th European Conference Biomass PowerON 2025

2025 年 10 月 8 日（水）～9 日（木）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2025,4,en,2,1,110.html>

■European Biomethane Week

2025 年 10 月 14 日（火）～15 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://www.europeanbiogas.eu/european-biomethane-week-2025/>

■3rd Forum of the Polish Biomethane Organization

2025 年 10 月 29 日（水）

ワルシャワ（ポーランド）

<https://bioch4.org/en/forum-copy-copy-copy/>

■All Energy Australia 2025

2025 年 10 月 29 日（水）～30 日（木）

メルボルン（オーストラリア）

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■7th European Conference Future of Biofuels 2025

2025 年 10 月 29 日（水）～30 日（木）

ヨーテボリ（スウェーデン）

<https://fortesmedia.com/future-of-biofuels-2025,4,en,2,1,111.html#register>

■Ecomondo 2025

2025 年 11 月 4 日（火）～7 日（金）

リミニ（イタリア）

https://cloud.ecomondo.com/visit-2025-eng?utm_source=banner&utm_medium=referral&utm_campaign=bio

[energy insight](#)

■European Bioenergy Future 2025

2025 年 11 月 5 日（水）～6 日（木）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergyeurope.org/events/>

■USIPA 2025 Conference

2025 年 11 月 9 日（日）～11 日（火）

フロリダ州マイアミ（USA）

<https://theusipa.org/2025-conference>

■UNFCCC COP30

2025 年 11 月 10 日（月）～21 日（金）

ベレン（ブラジル）

<https://unfccc.int/process-and-meetings/conferences/un-climate-change-conference-belem-november-2025/the-road-to-belem>

◎9th Biomass & Bio Energy Asia

2025 年 11 月 18 日（火）～20 日（木）

ホーチミン市（ベトナム）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=251114&>

■Stora biokraft- och v rmekonferensen

2025 年 11 月 19 日（水）～20 日（木）

ベクショー（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/stora-biokraft-och-varmekonferensen/>

■Nordic Flame Days 2025

2025 年 11 月 26 日（水）～27 日（木）

コペンハーゲン（デンマーク）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/nordic-flame-days-2025/>

■Industry CCUS 2025 Conference

2025 年 11 月 26 日（水）～27 日（木）

アムステルダム（オランダ）

<https://fortesmedia.com/industry-ccus-2025,4,en,2,1,112.html>

■European Biocarbon Summit 2025

2025 年 12 月 9 日（火）～10 日（水）

アムステルダム（オランダ）

<https://www.hawkinswright.com/european-biocarbon-summit/home>

■10th Biogas Congress

2025 年 12 月 16 日（火）～17 日（水）

ワルシャワ（ポーランド）

<https://magazynbiomasa.pl/biogas-congress/>

◎Nordic Pellets Conference 2026

2026 年 2 月 3 日（火）～4 日（水）

ヨーテボリ（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/nordic-pellets-conference-2026/>

■bio 360

2026 年 2 月 11 日（水）～12 日（木）

ナント（フランス）

<https://www.bio360expo.com/Page/1259/program-2026>

■HOLZ-HANDWERK 2026

2026 年 3 月 24 日（火）～27 日（金）

ニュルンベルク（ドイツ）

<https://www.holz-handwerk.de/en>

■2026 International Biomass Conference & Expo

2026 年 3 月 31 日（火）～4 月 2 日（木）

テネシー州ナッシュビル（USA）

<https://2025->

[bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelId=Home](https://www.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelId=Home)

■Svebios årsstämma och vårmöteskonferens 2026

2026 年 4 月 15 日（水）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebios-arsstamma-och-varmoteskonferens-2026/>

■Bio 360 Africa

2026 年 6 月 17 日（水）～18 日（木）

ヨハネスブルグ（南アフリカ共和国）

<https://www.bio360-africa.com/lang/en>

5. 2025 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇遠軽町「遠軽町ペレットストーブ購入費補助金」

<https://engaru.jp/life/page.php?id=83>

【神奈川県】

◇横須賀市「令和 7 年度よこすかエコポイント」

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/ecopoint.html>

※申請者には、市内協力事業者の店舗で利用できる商品券やポイントを交付

【長野県】

◇木島平村「薪ストーブ等購入費補助金」

<https://www.vill.kijimadaira.lg.jp/articles/2025072900018/>

◇北相木村「北相木村新エネルギー設備設置費補助金」

<http://www.vill.kitaiki.nagano.jp/docs/380.html>

◆茅野市「令和 7 年度ペレットストーブ・ペレットボイラーの購入に係る補助金」

<https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/nourin/perettohojokin.html>

◇東御市「木質バイオマスストーブ設置補助事業」

<https://www.city.tomi.nagano.jp/category/ondankahojyokin/164092.html>

◇白馬村「白馬村森のエネルギー推進事業補助金」

<https://mykoho.jp/article/204854/9702865/9806194>

◇原村「原村森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.vill.hara.lg.jp/docs/55885.html>

6. 公募等情報（締切順）

■栃木県「気候変動対策ビジネス等創出支援補助金」

第2次募集：2025年7月22日(火)～9月12日(金)

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/taisaku-business-hozyokin.html>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和6年度補正予算 省エネルギー投資促進支援事業（3次公募）」

公募期間 2025年8月13日（水）～9月24日（水）

<https://sii.or.jp/setsubi06r/overview3.html>

■（公財）緑の地球防衛基金「地球にやさしいカード」による助成事業」

受付期間 2025年8月1日（金）～9月30日（火）

https://green-earth-japan.net/act_card.html#grant

■（一財）環境イノベーション情報機構「令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業）） 省CO2型設備更新支援C（中小企業事業）」（六次公募）

公募期間 2025年4月15日（火）～9月末日（予定）

https://www.eic.or.jp/eic/topics/2024/shift_r06/6th/

■農水省「令和7年度バイオマス産業都市構想の提案を募集します」

募集期間 2025年6月20日（金）～10月31日（金）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/r_energy/250620.html

■兵庫県「令和7年度ひょうごバイオマスecoモデルの登録募集」

応募締切 2025年10月31日（金）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/press/20250801.html>

■（公財）コメリ緑育成財団「第36回コメリ緑資金助成」

○自然環境保全活動、里地里山保全活動：2025年8月1日(金)～2025年10月31日(金)まで

○緑化植栽活動：2025年8月1日(金)～10月24日(金)まで

<https://www.komeri-midori.org/koubo/index.html#sec01>

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和6年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業（3次公募）」

単年度事業：2025年8月13日（水）～10月31日（金）

複数年度事業：2025年8月13日（水）～2026年1月13日（火）

<https://sii.or.jp/koujou06r/overview3.html>

■広島県「令和7年度広島県創エネ・省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ（幼稚園・保育所・認定こども園等対象）」

受付期間 2025年4月7日（月）～12月19日（金）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/04setubihojokin.html>

■広島県呉市「呉市脱炭素化設備等導入補助金（設備導入補助）」

申請受付期間 2025年5月27日（火）～12月25日（木）

<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/40/cn-shien004.html>

■兵庫県高砂市「高砂市中小事業者脱炭素化設備等導入促進補助金」

受付期間 2025年5月1日（月）～12月26日（金）

<https://www.city.takasago.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoseisakuka/4/hojyokinn/10321.html>

■（一社）低炭素投資促進機構「令和7年度温暖化対策促進事業費補助金(トランジション・ファイナンス推進事業)」

公募期間 2025年6月13日（金）～2026年1月30日（金）

<https://www.teitanso.or.jp/tf7/>

■富山県南砺市「木質ペレット燃料購入者支援補助金」

<https://www.city.nanto.toyama.jp/soshiki/ecovillage/2/1/761.html>

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県林業・木材産業改善資金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024041500181/>

■北海道「林業・木材産業改善資金」

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/05_rinkin/k002.html

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共的施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■富山県「脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）」

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」

<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyoushizen/kj00006264.html>

■NEDO「再生可能エネルギー熱利用に係る導入可能性等調査」に係る公募について【予告】

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100437.html#youkou

※2025 年 8 月下旬～9 月上旬公募予定

■NEDO「2025 年度第 2 回「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業」に係る公募について【予告】

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100436.html

※2025 年 9 月上旬から 1 カ月間公募予定